

金山らしいオンリーワンの町づくり

昭和57年に全国に先駆けて施行した情報公開制度「公文書公開条例」。町民が誇りとする美しい景観の保持・創造等を目的として制定した「街並み景観条例」。町では、このような施策に取組みながら「住んでよかった」と実感できる町を目指しています。そんなオンリーワンの町づくりを展開する金山で様々なナンバーワンを探そうというこのコーナー。町全体のことから地域や団体のことまで、色々なナンバーワンを通して、金山をもつと好きになってもらいたら幸いです。

みすぎ荘 輪投げ団体 老人ホーム輪投げ県大会で優勝の快挙



上：集合写真
(左から)
室さん、長倉さん、佐藤さん

高齢者が元気な町は、町全体も活気づきます。全国大会でも「ナンバーワン」を目指し、「健闘されること」を期待しています。町民の皆さんで応援しています。

団体戦は3人1組のチームで、その合計点により争われます。みすぎ荘チームは長倉繁美さん、室久子さん、佐藤ワキ子さんが出場。皆さん、大会1ヶ月前から練習を重ねたそうです。「当日は緊張したが、力を出せてよかったです」と笑顔で話す室さん。全国大会への意気込みを聞くと長倉さんは「頑張ります」と力強い一言が返つてきました。

みすぎ荘 悲願の優勝

6月15日、県総合運動公園アリーナで開催された第43回県老人ホーム輪投げ大会において、みすぎ荘チームが団体戦で見事優勝を果たし、10月に山形市で行われる全国大会の切符を手にしました。みすぎ荘チームは、全58チームが参戦する特別養護老人ホーム部門に出場。開所当初から20年以上にわたり出場している大会で、過去に2度の準優勝を経験しています。あと一歩のところで涙を飲んでいただけに、今大会は悲願の優勝となりました。

みすゞ荘 悲願の優勝